

# 海洋科学技術センター研修報告書

平成12年10月10日(火) 7日目

時間	訓練項目	訓練内容	使用資器材	備考
1時限 08:00～ 08:50	検索法説明 陸上訓練	ロープ展張方法 検索法図上訓練	検索ロープ	合図の徹底
2時限 09:00～ 09:50	スクーバ潜水 (2名)	基線検索法(海域) (ハーネス・BC) 岸壁からの入水	検索バディロープ	
3時限 10:00～ 10:50	同上			
4時限 11:00～ 11:50	検索法説明 陸上訓練	基線検索法グループ (ジャックステイ) 展張・検索・収納	検索ロープ	
5時限 13:00～ 13:50	スクーバ潜水 (グループ)	基線検索法(海域) (ハーネス・BC)	検索ロープ	
6時限 14:00～ 14:50	検索法説明 陸上訓練	基線検索法グループ (円形搜索) 展張・検索・収納		円形＝環状
7時限 15:00～ 15:50	同上			
8時限 16:00～ 16:50	スクーバ潜水 (グループ)	円形検索法(海域) (陸上訓練を含む) (グループ)	検索ロープ	
9時限 17:00～ 17:50	同上			

## 研修レポート 7日目

### 1 時限

検索法説明  
基線検索法

#### パディによる検索要領の説明



基線概ね100メートル  
検索ロープ 3～4メートル  
基線側が指揮者となり、2名でブイから沈垂を伝って潜降する。  
指揮者は、沈垂に至り基線を保持する。  
もう一方のものは、沈垂に到着後指揮者の合図により、チェーンノットの検索ロープを解きながら、基線と垂直方向に広がる。  
完全に広がったら、指揮者に到着した旨の索信号を送る。

指揮者の索信号により、検索開始、反対側の沈垂に到着したら、指揮者の索信号により半円検索を実施後基線の反対側を、反対方向に検索する。

検索を終了したら、指揮者の索信号により、外側の者がチェーンノットで、検索ロープを収納しながら指揮者の所までよって行き、指揮者の合図で浮上する。

(要領については、6日目8・9時限目にプールにて実施)

(2時限目海域で実施)

#### グループによる検索要領の説明



基線概ね100メートル  
検索ロープ 20メートル

(4時限目海域で実施)

## 2・3時限目

### スクーバ潜水

- ・基線検索法（バディで実施）



- ・ハーネスで2周  
BCで2周実施

指揮者側でないダイバーには、小さなブイをつけて、水上安全員により監視。

## 4時限目

- ・基線検索法陸上訓練（グループ）

マスクなしで1回、暗中マスクを装着して1回実施。

（水中には入ったら一切 言葉を発してはいけない）



索をあげ、（索の状態と目通し）



検索



潜降前の合図の確認、目通しが重要

検索ロープ収納

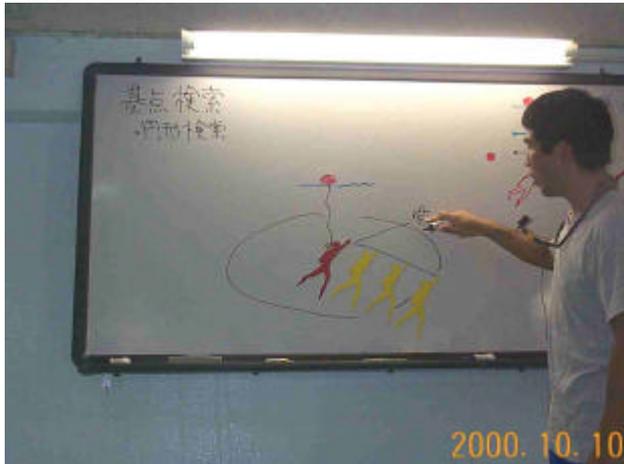
## 5 時限目

### スクーバ潜水

- ・ 基線検索法陸上訓練（グループ）  
海域で、ハーネス 1 周・ B C 1 周 計 2 周実施

## 6・7 時限目

- ・ 基線検索法陸上訓練（円形）



マスクなしで 1 回、暗中マスクを着装して 1 回実施。

（水中には入ったら一切 言葉を発してはいけない）

目通しはさして重要でなく、指揮者の信号、検索ポジション（何番目を検索するか）中間の者の索の持ち方、1 周プラスアルファ（30 度程度）の検索が重要。中間者がしっかり索を持つと検索が凸凹になる。（OK マークの要領で持つ）

## 8・9 時限目

### スクーバ潜水

- ・ 基線検索法陸上訓練（グループ）  
海域で、ハーネス 1 周・ B C 1 周 計 2 周実施

7 日目終了